



# 秋山みつあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 深刻な有害鳥獣被害を訴え!

### 狩猟者の高齢化を危惧

### ジビエ料理で食肉活用



本会議場の壇上から有害鳥獣の被害を訴える秋山県議

県議2期目の任期があと半年余りと迫る中、館山市選出の秋山光章(あきやま・みつあき)県議は、6月定例県議会では一般質問に登壇し、深刻な有害鳥獣被害を訴えるなど、県南地域の抱える課題について、地域の声をしっかりと県政に伝えました。秋山県議は、有害鳥獣による農作物への被害は、農家の生産意欲を減退させ、耕作放棄地を増大させるなど、地域の農業生産にとって深刻な障害になっていると訴えました。

#### 報奨金の額

秋山議員 県内の中山間地域を中心に野生のサル、シカ、イノシシ等による農作物への被害は増え、農家の生産意欲を減退させ、耕作放棄をはじめ農業生産の大きな障害となっています。

まず、シカやイノシシなどの大型有害鳥獣は、広域的に移動できますので、市町村単位での取り組みを国や県が支援するという施策の枠組みが現実には合いません。具体的には、隣り合う自治体間で報奨金の額が違うという実態があります。

すると当然、報奨金額が高い地域では駆除活動が盛んになるため、有害鳥獣はそうでない地域に逃げ込み、移動した先で繁殖し、やがて以前の場所に帰ってきます。広域的に捕獲従事者の受領金額が同一化されるよう、県が主体的に取り組むべきで

あると思うがどうか。

環境生活部長 捕獲に際しての報酬条件や緊急捕獲等対策事業の実施状況などにより、市町村間で捕獲従事者への支払い金額に差異が生じていることは認識しています。

今後、緊急捕獲等対策事業を実施していない市町村に対しても事業の活用を促すなど、差異の解消に向けた取り組みを進めてまいります。

#### 狩猟者の減少

秋山議員 国の施策を活用するにも、地元側に行える体制が整っていることが前提になりますので、人材確保と活動しやすい環境づくりが必要となります。その関係で伺います。狩猟免許所持者は近年減少傾向にあるとのことですが、その原因は何か。今後、何か対策を講じるのか。

環境生活部長 狩猟免許の所持者数が減少してきている背景には、免許所持者の高齢化や少子化に伴う若年世代の減少のほか、趣味の多様化など、さまざまな要因

があると考えています。

県では、昨年7月に千葉県県射撃場を再開し、猟銃等所持者の利便性向上を図ったところですが、今後とも、多くの方が狩猟に関心を持てるよう、狩猟に関する啓発を行うなど、担い手の確保を

#### イノシシ肉の有効活用

秋山議員 南房総、安房の山に生息するイノシシは、ドングリを大量に食べているので、あの有名なスペインのイベリコ豚と同じような育ち方をしています。

いわゆるジビエ料理の食材として有望ではないかと思われています。ジビエ料理の材料としての活用など、有害鳥獣の肉の有効活用に向けて、県はどのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 有害鳥獣の肉を資源として有効に活用することは、地域の活性化を図る取り組みとしても、意義のあるものと考えられます。有害鳥獣の肉は、食肉としての活用を促進するために、安全に供給するシステムを構築するとともに、地域ならではの貴重な食材であることをPRするなど、需要拡大を図る必要があります。

このため県では、千葉県野生鳥獣対策本部においてイノシシ肉の衛生管理ガイドラインを作成し、適正な食肉処理について周知徹底を図るとともに、イベント

育成に努めてまいります。  
**要望** 法に定められている狩猟免許の更新申請の際に必要な医師の診断書については、箱ワナの場合には不要とするよう、全国に声をかけて国に対し、法改正を働きかけるよう要望します。

等を活用したPRを行ってきたところです。  
今後は、民間事業者が行うジビエ料理の新メニューや新たな加工食品の開発に対する助成事業などを通じて、有害鳥獣の肉の有効活用を進めてまいります。

●県政や館山市のご相談、ご意見を聞かせてください

## 秋山みつあき 県議事務所

〒294-0045 館山市北条2570-11 SKビル101 TEL.0470-23-5252 FAX.0470-23-5251

# 南総文化ホール 南房地域の文化芸術の拠点



南総文化ホールを視察する秋山県議

## 老朽化対策

秋山議員 県立文化会館の多くは、開設後長い時間がたち、老朽化が目立ちます。文化会館は、単に人を集める大きな建物に過ぎないのではなく、地域の可能性を花開かせるという視点も、文化会館のこれからのあり方を考えるに当たって重要なことだと考えます。

そこで、伺います。老朽化が進む県立文化会館の現状をどのように認識しているのか。また、改修等をどのように進めていくのか。

環境生活部長 県では4つの文化会館を有していますが、最も古い県文化会館は昭和42年、最も新しい南総文化ホールでも平成9年に開館したもので、機械設備や空調設備などは経年劣化が見受けられる状況です。

## 特急の復元を

秋山議員 削減された特急ダイヤの復元や快速電車の現在の終点以遠の延伸を、JRに求めるべきと考えますが、県はどのように認識しているのか。

諸橋副知事 県では、ダイヤ改正に地域の意見を反映する仕組みの創設を国に要望するとともに、市町村と連携して、特急ダイヤの復元や快速列車の延伸について、JR東日本へ要望活動を行っています。

## 防風柵設置

秋山議員 鉄道は、通勤・通学の重要な交通手段であり、防風柵の設置等の強風対策をJRに対して求めるべきと考えますが、県はどのように認識しているのか。

秋山議員 県南部の重要な文化振興拠点である南総文化ホールは、開館から17年目に入り、大規模改修の時期を迎えていると考えるが、県の認識はどうか。

環境生活部長 南総文化ホールは、県南地域の文化芸術の拠点であると認識していますが、施設の大規模改修については、施設の利用状況等を勘案の上、長期的な視点をもって対応を検討したいと考えています。

# 県南の公共交通のあり方問う

はどのように認識しているのか。

## 路線バス

森田知事 強風による運転見合わせ時間を削減することは、利用者の利便性を向上する上で、大変重要であり、県では、平成18年度からJR東日本に対し要望活動を行っています。

この成果として、JR東日本では近年、京葉線や総武線、内房線で順次、防風柵を設置しており、各路線とも運転見合わせ時間の削減に相当な効果が得られているとのこと。

## 多言語対応

秋山議員 近所の助け合いも難しくなり、日常的な買物や通院が大変困難になっています。通院難民、買物難民が増えます。県では、どのように路線バスを中心と

秋山議員 東京オリピック・パリンピックの開催に合わせ、県内への外国人観光客の誘客を図るため、公共交通の外客対応などに今から取り組むべきではないか。

諸橋副知事 東京五輪に向けた多言語対応の強化・推進については、本年3月に

## 自治法施行60周年

秋山議員 地方自治法施行60周年の記念貨幣の図柄は、今後どのように決定されるのか。

諸橋副知事 記念貨幣の図柄は、県と造幣局で調整し、最終的に閣議で決定されるものです。県としては、今後、貨幣としてふさわしいテーマを公募するとともに、有識者の意見をいただき、県民にとって「千葉県の素晴らしさ」を再認識し、誇りと親しみを感じる記念貨幣となるよう、取り組んでまいります。

## 多言語対応

秋山議員 東京オリピック・パリンピックの開催に合わせ、県内への外国人観光客の誘客を図るため、公共交通の外客対応などに今から取り組むべきではないか。

諸橋副知事 東京五輪に向けた多言語対応の強化・推進については、本年3月に

秋山議員 地方分権振興交付金は、記念貨幣の発行に連動して行う事業や地方分権の振興に資する事業を対象に、記念貨幣の発行実績に応じて3500万円を上限として発行されるものです。交付金は、貨幣の発行年度である平成27年度に交付されることから、地方分権や地域活性化が図られるよう、今後、具体的な事業を検討してまいります。

あり、県と沿線自治体が一丸となった取り組みに大いに期待しているところであります。

先月上旬、自民党鉄道問題対策議員連盟として、関西方面へ視察に行っていました。奈良県では、地域鉄道の総合的な利用促進をバス交通と連携させ、住民ニーズに合わせた交通サービスを実現する取り組みの調査を行いました。

本県でも、県外事例をよく研究していただき、将来にわたる生活交通の維持のため、新しい発想を積極的に採用して取り組んでいただくよう要望します。

**要望** 公共交通を守ることは、活力ある地域づくりに欠かせないことである。

**要望** 公共交通安全を確保することは、活力ある地域づくりに欠かせないことである。

**要望** 公共交通安全を確保することは、活力ある地域づくりに欠かせないことである。